

チュートリアル課題 テニスが得意なM子さん

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-07-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31176

2011年度 Block. 5

課 題 No.4

課題名：テニスが得意なM子さん

課題作成者：膠原病リウマチ痛風センター 高木香恵

シート1

Mさんは、高校生の女性です。運動が得意で中学生の時に硬式テニスの全国大会に出場し、高校はテニス強化選手として推薦で進学しました。高校入学後もテニス部のエースとして、練習にはげんでいます。しかし最近テニスをした後、顔面を中心に皮疹がでることに気がつきました。露出部には水疱を伴う激しいものも出ます。また微熱が続き、最近、疲れやすいなと思うようになりました。

シート2

口内炎もでき時々手足の関節も痛みます。最近爪の周りに赤い皮疹がでることに気づきました。

シート3

心配したお母さんにつれられてMさんは近医を受診しました。受診時、顔面を中心に皮疹が確認され、脱毛もみられました。少し動くと息切れもあるようです。血液検査と尿検査、胸部レントゲン検査を受けました。診察した医師から至急専門医を受診するように言われました。

シート4

Mさんは紹介状をもって大学病院のリウマチ膠原病科を受診しました。担当医は病歴を聴き、Mさんに入院して精査するように勧めました。しかしMさんは学校を休まなくてはならないので入院はできればしたくないと思いました。

シート5

両親の強い勧めもあり、Mさんは入院していろいろな検査を行いました。腎病変の確定診断のため腎生検を施行しました。病理組織で変化がみられました（資料6）。

確定診断がつき、担当医から病気と治療の説明を受けました。さらに特定疾患の申請について説明を受けました。Mさんは自分の将来に対して不安になりました。お母さんはMさんの前では口には出しませんがMさんが普通に結婚して妊娠もできるのか心配しています。

シート6

ステロイドと免疫抑制剤を用いた治療が開始されました。発熱や全身倦怠感、皮疹は治療開始後すぐに消失し、検査成績にも改善が見られました。内服薬の量も徐々に減ってきて、退院の日が近くなりました。でもMさんは退院後テニスが今までどおりできるかどうか心配しています。